

D O N L I N E

第16号発行者
川村・黒川（四回生）
権・村上（三回生）
小川（二回生）

新歓活動

本年度も新入生への対面での勧誘が禁止されており、SNSを用いた声掛けが主体となる新歓でした。

昨年度と同様、新入生の悩み相談を行う座談会や交流会を行ったことで、入部してくれた新入生からは「先輩が優しく相談に乗ってくれた事がきっかけで入部した」という声を聞くことができ、オンライン中心ながら充実した新歓活動ができました。対面で行ったスポーツ交流会等のイベントでは、部の雰囲気を知ってもらうのは勿論のこと、新入生同士で交流を深めることを目的に実施しました。今年は他のスポーツ経験のある新入生が多く、ソフトボール、カヌー、空手などバラエティ溢れる代だと思います。日々真摯に修練に励み、ハングリー精神が見られる彼らの影響で一層活気溢れる部になりました。

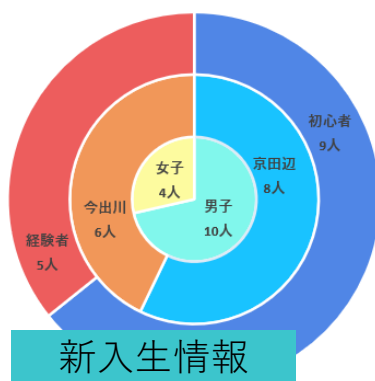
2021年度は、対面とオンラインのイベントを使い分け、新入生のニーズに合わせて実施し、親身に交流を深めることで、14名もの新入部員を迎える事ができました。



オンライン新歓イベント



スポーツ交流会



新入生情報



体験練習後の集合写真

～新入生インタビュー～

Q1. 新歓イベントに参加した理由を教えてください！

私は入部が既に決まっていたため、先輩方と交流を深めたいと思いイベントに参加しました。また、何よりも一緒に4年間頑張っていく仲間が欲しかったことも理由です！

（喜多あみる・スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科・兵庫県立姫路商業高等学校）

Q2. 新歓で感じたことを教えてください！

初心者に対しても、わかりやすく指導していただいたことが良かった点です。そのお陰で、新歓が終わる頃には不安よりも楽しさでいっぱいでした！また、コロナ禍で同級生と会う機会が少ないなか、新歓を通して新入生と知り合えるきっかけができました。

（神田載伸・法学部法律学科・東海高等学校）

Q3. 入部の決め手を教えてください！

少林寺拳法部なら大学で4年間続けられそうだと考えて入部しました。具体的には、少林寺拳法部は練習中と練習後のオンとオフの切り替えがはっきりしており、生活にメリハリを持たせられ、また人間的にも成長できそうだと感じた点です！

（西島寧香・法学部法律学科・兵庫県立姫路東高等学校）

春季強化練習会

2021年5月1日（土）～5月3日（月）の3日間、オンラインZOOMにて春季強化練習会を行いました。今年は、新型コロナウイルスで会う機会が減っている分、部員同士の交流が減りつつあるため、チーム力向上をテーマとして実施しました。

本年度は、練習時間が2時間に限られていましたが、チーム力向上に向け有意義な時間が過ごせました。練習では、百本蹴、有酸素運動、筋力トレーニング、そして単独演武などに取り組みました。入部して間もない新入生が多かったため、上回生たちが「一回生頑張れ！」などと声を出し合うことで、より活気溢れる練習時間が作れました。

また、今年はコロナ禍により部員同士のコミュニケーションを図ることが難しいなか、チーム力向上に向けて、各グループ5～7人に分け、グループワークを行いました。初めの2日間は、指導者の方々と部員同士でより相手を知るために、自己紹介から始め互いの入部動機などを話し合いました。最終日には、一人ひとりの部活動における一年間の目標と、それに対する具体的な行動を共有し、フィードバックや質問をし合う時間なども設けました。初の試みでしたが、普段話すことのできない内容を話し合うことで、互に関心を持つきっかけにもなったのではないかと思います。さらに、我が部には帰国子女の部員が多いため、練習後にお昼を食べながら海外に住んでいたエピソードを紹介してもらいました。

このように多くの交流の機会を設けることができたため、チームの一体感を高めることができ、良い雰囲気の中で春シーズンを迎えられました。



帰国子女紹介



練習後記念撮影

入部式

2021年7月3日（土）に真誠館で入部式を行いました。入部式は入部の決意や心構えを確認し、自分自身に誓うための式です。コロナ禍において、道場へ足を運ぶことができないため、一回生の保護者に部活動への理解を深めてもらえるよう、またOB・OGとの繋がりの方を少しでも作れるように、初めてオンライン配信を行いました。

今年は様々なバックグラウンドを持った部員が多く、中でも少林寺拳法に挑戦することで、新たな自分を見つけ精神的にも成長したいと意気込む一回生が多くみられました。また、経験者で入ってきた一回生の中には精神的成長だけでなく、「全国を取りたい」と宣言している部員もみられました。また、入部者宣誓を「やりたい！」と立候補してくれるチャレンジ精神溢れる部員も多くみられ、これからの彼らの活躍が楽しみです。

飯田部長や指導者の方々、大橋OB・OG会長からは、少林寺拳法の目的や部の理念などについてお話して頂きました。入部式を経て、一回生には部の一員である自覚を持ってもらえたのではないかと思います。保護者の方からは、「入部式を拝見できて嬉しかったです」「充実した毎日を送っているようで安心致しました」などの声を頂きました。

今後もオンラインでの配信を検討しておりますので、是非ご参加ください。



自己紹介のZOOM画面



入部式後の一回生集合写真

京都府選考会

7月23日(金)に島津アリーナ京都にて2021年少林寺拳法全国大会京都府選考会が行われました。この選考会で選ばれたペアが京都府代表として10月に行われる全国大会に出場することが出来ます。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、無観客3ラウンド入れ替え制で行われました。

演武では出場8組中5組が選考会により京都府代表に選ばれました。また、2組が学生連盟枠として代表に選ばれました。一回生が2人も選出され、フレッシュな顔ぶれとなりました。また、現役部員だけでなく第46代辻村コーチも選出されました。

運用法は

7月4日(土)に行われた運用法選考会で選出された2組のうち、動画選考により全国大会エキシビジョンへ出場できる組が決まりました。

代表選出者

- 一般男子五段以上の部
 - 第46代辻村コーチ (宇治市役所)
 - 大野竜弥監督 (立命館大学)
- 一般男子三段・四段の部
 - 森内 (文4) — 玉井 (スポ健1)
- 一般男子初段・二段の部
 - 村上 (理工3) — 森岡 (社会3)
 - 平野 (理工4) — 吉岡 (生命4)
- 一般女子三段以上の部
 - 景山 (政策4) — 山本 (スポ健4)
 - 北田 (神4) — 高橋 (スポ健2)
- 女子護身技法の部
 - 赤田 (経済4) — 黒川 (生命4)
 - 上辻 (心理3) — 喜多 (スポ健1)



第1ラウンド出場者と前川監督



第2ラウンド出場者

Q. 部員インタビュー
後輩・先輩とペアを組んだ感想を教えてください！

一回生と四回生のペアだったので、まずはお互いをしっかり知るために練習時間中だけでなく、練習前後でも多くコミュニケーションを取り、相互理解を深めました。



選考会後の2人

Q. 選考会を終えてどうですか？

初めて全国大会出場を勝ち取り素直にとても嬉しいです。京都府代表の名に恥じない演武を全国大会で披露できるように修練に励みます。

第一に全国大会に出られることになって安心していきます。これまで以上に精進して良い結果を報告できる様に頑張りたいです。

最後に、森内主将に全国大会への意気込みを語ってもらいました。

新型コロナウイルスの影響で対面練習ができる期間が短いなか、オンライン練習で基本や武階別技術修練を行い、技術力の向上を図りました。また、選考会の日程が期末試験期間と重なり、出場者はオフに入った後も試験勉強と練習を両立しました。指導者の方々は休日だけでなく、平日夜も指導していただき、一丸となり、全国大会出場に向け練習してきました。

※新型コロナウイルス感染拡大のため、全国大会は中止となりました。(8/31追記)

保護者会

3月27日(土)にオンラインでの保護者会が行われ、23名の保護者が参加されました。この会は保護者の方に我が部への理解を深めていただき、チームとしてより一体感を得るために毎年開催しております。

保護者の方に対して事前に行ったヒアリング、ZOOMのセッティング、といった準備に時間を要しましたが、部員同士、場合によっては指導者の方々と交えたミーティングや何度もありハールサルを行うことで本番は問題なく進行できました。

部長・監督・コーチ挨拶から始まり、部の目的や部員を支援する体制、コロナ禍でも工夫して行ってきた活動を発表し、部員には部活動をする上での心意気を話してもらいました。

特に四肢、修練道具、道場内の消毒の徹底、修練中のマスク着用といった感染防止対策について詳細な説明を行いました。保護者の方からは、「活動の様子が分かり安心した」「今後とも子どもをよろしく願います」「頂き大盛況となりました。」など、嬉しいお言葉を多く頂きました。

部活動を続けていくためには保護者の方のご理解ご協力が不可欠です。保護者の方に部への理解を深めていただき、1人でも多くの部員が部活動を継続し、活躍できたらと思います。今後とも熱いご声援のほどよろしくお願い致します。



道場の様子



最後の集合写真

OB・OG会長としての役割と理想像

現役部員の皆さんの物心両面の支援を一番に考え、役員の方々と情報共有を図り、現役部員の皆さんとの良好な関係に務めています。

若い世代へ必要なアドバイスを行う事、各世代の関係を再構築する事、コンプライアンスに関する防止策、教育に努める事が大切だと思っています。

OB・OG会の近況報告

コロナ禍において、集まる機会は少ないですが、SNS等を活用して情報交換を行っており、また現在は秋以降のOB・OG総会に向けて、役員会等の準備を進めています。会長個人としては保護者会、幹部交代追い出し練習、入部式に参加させて頂きました。

OB・OG会にむけての一言メッセージ

OB・OGの皆さんとの絆を深める事が一番大切です。2年後の創立60周年を機に現OB・OGの皆さんのネットワークを駆使して新OB・OGの開拓をお願いしたいと思います。

大橋さんプロフィール

代：15代
卒業年：1979年
学部学科：法学部法律学科
役職：統制部長
出身地：山口県
思い出深い行事：一回生の関西大会(団体戦最優秀賞受賞)
趣味：バンド活動(60年代アメリカン・フォークソング)、旅、食べ歩き
少林寺拳法を始めたきっかけ：肉体と精神を鍛えるため



現役時代の大橋さん

OB・OG会長
大橋健司

新会長紹介